



令和5年度

太田小だより 10月号

【学校教育目標】

「自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成」
 ～やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小～
 ○思いやりのある子 ○すすんで学ぶ子 ○たくましい子

さいたま市立太田小学校
 令和5年9月25日（月）発行
 全校児童数576人



住所 さいたま市岩槻区仲町 1-17-3
 電話 048-756-0515
 FAX 048-758-7487
 メール ota-e@saitama-city.ed.jp
 Web https://ota-e.saitama-city.ed.jp



主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

—令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果を受けて—

校長 田波 巨士

今年については、7月以降「真夏日」の連続日数が更新され、9月下旬となっても暑い日が続きました。日中、気温やWBGTが高く、子どもたちに外での活動を制限することが度々ありました。「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、近年は、異常気象や気候変動から、この慣用句のような季節の移ろいを感じる時期がずれてきていると感じます。今週から少しずつ暑さが和らいできそうな予報なので、これからは、外で元気に運動したり、遊んだりする子どもたちの姿が見られそうです。

さて、7月末に、文部科学省から令和5年度の全国学力・学習状況調査（小学校6年生・中学校3年生対象）の報告書・集計結果が公表されました。埼玉県、さいたま市においても、調査結果の概要が県や市のホームページで公表されています。

教科	さいたま市	全国	埼玉県
国語	70	67.2	68
算数	65	62.5	62

【※さいたま市のホームページより抜粋：令和5年度全国学力・学習状況調査「教科に関する調査」の平均正答率一覧（公立）】

本校では、2学期当初に調査結果の個票等を6年生に配付しました。本校の傾向としては、国語・算数で、全国平均よりも下回っており、両教科で自分の考えをまとめる設問において、課題が見られました。例えば、次に示すような内容です。

『国語の「話すこと・聞くこと」の領域』

《防犯ボランティアの方にインタビューした内容から答える問題》

○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることはできていました。

◆防犯ボランティアがどのような思いで続けているか、ボランティアの発言や言葉を取り上げて、書く問題（記述）は正答率が低く、また無回答率も多いという結果でした。

⇒立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめるなどの学習活動の充実を図ります。

『算数の「データの活用」の領域』

《5年生と6年生で30分以上運動した日数と人数をグラフと二次元の表に表し、条件に合う数を読み取ったり、言葉と数で表したりする問題》

○示された表から必要な数を読み取ることはできていました。

◆示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを記述することに課題が見られました。

⇒グラフのどの部分からどのように考えたのかを明らかにして、他者に分かるように伝えるなどの学習活動の充実を図ります。

現行の学習指導要領では、これからの社会がどんなに変化して予測困難な時代になっても、子どもたちが、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現できるような「生きる力」を身に付けることを基本方針としています。本校では、今後も調査結果について分析を続け、子どもたちに「生きる力」を育ていけるよう、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、学校での学びを日常生活で活用したり、御家庭での経験を学校生活に生かしたりできるよう、子どもたちへの働きかけをお願いいたします。